
平成22年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成22年3月2日

質問者（質問順）

- 1 酒井 誠 委員（自民党）
- 2 坂井 太 委員（自民党）
- 3 森 裕之 委員（民主党）
- 4 和田卓生 委員（公明党）
- 5 山田桂一郎 委員（民ヨコ）
- 6 大貫憲夫 委員（共産党）

資源循環局

局 別 審 査

1 酒 井 誠 委員（自民党）

1 平成22年度予算について

- (1) 22年度予算の編成にあたって苦心した点は何か。
- (2) 22年度予算の特徴は何か。
- (3) 予算編成を終えた局長の所感を伺いたい。

2 市民サービスアップについて

- (1) 過去3年間のふれあい収集の利用状況について伺いたい。
- (2) ふれあい収集時における安否確認について、具体的にどのように実施するのか。
- (3) 過去3年間の粗大ごみ全体の収集件数と持ち出し収集の実績について伺いたい。
- (4) 実際にどのような方たちが持ち出し収集の制度を利用しているのか。
- (5) 粗大ごみの持ち出し収集の対象者を拡大するねらいについて伺いたい。
- (6) 過去3年間の狭路収集の実績について伺いたい。
- (7) 現在、地域からはどのくらい狭路収集の要望が寄せられているのか。
- (8) 今後、どのように狭路収集を拡大していくのか。

3 家庭ごみの減量・リサイクルの推進について

- (1) 地域還元の趣旨について伺いたい。
- (2) 現在の資源物の売り払い単価と来年度の見通しはどうか。
- (3) 21年度の実施内容と申込状況について伺いたい。
- (4) 地域還元を廃止した理由について伺いたい。
- (5) リサイクルプラザの役割について伺いたい。
- (6) 今年度を含め3か年の入館者の実績について伺いたい。
- (7) 指定管理者をどのように選定したのか、指定管理者制度を導入した効果はどのようなものがあるのか。

(8) 行政監査では廃止を含め検討を求められた中で22年度も予算化した理由、今後のリサイクルプラザのあり方について見解を伺いたい。

4 業務効率化の推進について

(1) 今後の民間委託の方向性について伺いたい。

(2) 22年度の委託拡大などによる人員の削減効果について伺いたい。

(3) 西区の燃やすごみの収集を本市の職員が行うこととした理由について伺いたい。

(4) 変則的な収集回数を2年間実施してきた状況について伺いたい。

(5) 夏場の週3回収集を止めることとした理由について伺いたい。

(6) 今後、どのように市民の理解を得ていくのか。

2 坂井 太 委員（自民党）

1 次期一般廃棄物処理基本計画について

- (1) 現行の計画に対して、どのように評価しているか。
- (2) 新たな計画を策定するにあたっての課題について伺いたい。
- (3) 新たな計画策定のスケジュールはどのようになっているのか。
- (4) 新たな計画策定にあたっての基本的な考え方について伺いたい。
- (5) 本市温暖化対策を進める視点から、新たな計画策定をどのように進めるのか。
副市長に伺いたい。

2 発生抑制に向けた取組について

- (1) 発生抑制に取り組む意義について伺いたい。
- (2) 発生抑制の推進に向けた21年度の取組について伺いたい。
- (3) 3者検討会における議論の推移について伺いたい。
- (4) 22年度の取組について伺いたい。
- (5) 発生抑制に向けた取組の今後の考え方について伺いたい。

3 生ごみのリサイクルについて

- (1) 生ごみの資源化に取り組む意義について伺いたい。
- (2) バイオガス化の実証実験とはどのようなものか。
- (3) 環境創造局と連携する理由について伺いたい。
- (4) 温室効果ガスの削減に寄与する理由について伺いたい。
- (5) バイオガス化の今後の考えについて伺いたい。

4 安全・安定な焼却について

- (1) 本市の焼却工場が備えるべき処理能力の考え方について伺いたい。
- (2) 保土ヶ谷工場を緊急時等の備えとして運用するために、どのような対策を行なうのか。
- (3) 中継輸送施設整備の目的について伺いたい。

- (4) 焼却工場における事業系ごみの現在の受入れ状況について、伺いたい。
- (5) 今後の事業系ごみの受入れ体制の見直しの考え方について伺いたい。

5 焼却灰有効利用事業について

- (1) 焼却灰資源化のこれまでの取組状況について伺いたい。
 - (2) 焼却灰の資源化は止めることにしたのか。
 - (3) 金沢工場の熔融施設はいつ再開する予定なのか。
 - (4) 一時凍結した焼却灰セメント原料化事業はどうするのか。
 - (5) 22年度取組について伺いたい。
- (要望) 今後については、事業のアウトソーシングを基本に、多くの民間事業者が参入できるような条件の整備を行い、競争性を確保してコスト縮減を図るなど、持続可能な手法を確立し、着実な推進を要望します。

6 処分場の考え方について

- (1) 焼却灰の資源化の一時休止により、最終処分場の埋立計画への影響はないか。
- (2) 第2ブロック処分場の延命化に必要なことは何か。
- (3) 最終処分場の長期、安定的な確保に向けて、今後、どのように取組んでいくのか。

3 森 裕 之 委員（民主党）

1 次期一般廃棄物処理基本計画について

- (1) 一般廃棄物処理基本計画とはどのような位置づけの計画なのか。
- (2) 新たな計画と市全体の中期的計画との整合性について伺いたい。
- (3) 新たな計画を策定するにあたり、市民の声をどのように聞くのか。
- (4) 職員の取組に関する評価について伺いたい。
- (5) 今後の施策展開の中で、「現場目線」をどう活かしていくのか。
- (6) 焼却工場整備の基本的な考え方について伺いたい。
- (7) 今後の焼却工場の整備計画はどのように作っていくのか。
- (要望) 「生活者目線」、「現場目線」を活かした新たな一般廃棄物処理基本計画を策定し、さらなるごみの減量・リサイクルに取り組むことを要望します。

2 高齢社会への対応について

- (1) 「ふれあい収集」はどのような体制で実施しているのか。
- (2) 「ふれあい収集」時に安否確認を行う意義はどのようなことか。
- (3) 今後、さらに周知していくことが必要と思うが、どのように考えているのか。
- (要望) 積極的な広報等に努めるとともに、この制度をさらに充実させるための収集事務所の体制を整備することを要望します。
- (4) 本市における在宅医療廃棄物の処理の現状はどのようになっているのか。
- (5) 在宅医療廃棄物処理の課題はどのようなことか。
- (6) 針刺し事故の実状と具体的な状況について伺いたい。
- (7) 今後、在宅医療廃棄物の処理について、市としてどのように取り組んでいくのか。
- (8) 国に対しては、どのように働きかけを行っていくのか。

3 災害・犯罪等への対応について

- (1) 災害時のごみ収集についての基本的な考え方について伺いたい。
- (2) これまで災害支援を行ってきた教訓をどのように活かしていくのか。

- (3) 災害時に設置された仮設トイレのくみ取り体制と課題は何か。
- (4) 具体的な行動マニュアルが必要だと思うが、どのように考えるか。
- (5) 喫煙禁止地区について22年度の取組の特徴は何か。
- (6) 新たな地区指定についてどのように考えているのか。
- (7) ポイ捨ての防止に向けてどのように取り組んでいくのか。
- (8) 地域防犯の視点からの不法投棄対策について、局長の見解を伺いたい。
- (9) 22年度の不法投棄・放置自動車対策の取組内容はどのようになっているのか。
- (10) 不法投棄対策に係る地域の取組について、どのように受け止めているか。
- (11) 不法投棄物や放置自動車の撤去は、どのように行っているのか。
- (12) 不法投棄させない予防的な仕組みづくりに、本市はどのように取り組んでいくのか。

4 生ごみの堆肥化について

- (1) 参加世帯数は何世帯か、実際にどの程度の量が回収されたのか、また実際に堆肥を利用した農家からどのような声が寄せられたのか。
- (2) 生ごみ堆肥化実証実験を終了する理由について伺いたい。
- (3) 生ごみの堆肥化にはどのような課題があるのか。
- (4) 今後、本市における生ごみの資源化をどのように進めていくのか。

5 (財)かながわ廃棄物処理事業団の清算事業について

- (1) 事業団設立の目的はどのようなものだったのか。
- (2) 事業団の解散・事業譲渡となった最も大きな理由について、どのように考えているのか。
- (3) 事業譲渡の手続きはどのように進められたか。
- (4) 事業譲渡先はどのような会社であるのか。
- (5) 事業団の果たしてきた公共的役割を、事業譲渡先にどのように継承させていくのか。
- (要望) 今後も、事業譲渡先による公共的役割の継承が確実に行われることを要望します。

6 燃やすごみの収集回数について

- (1) 20年2月に収集回数を減らした目的について伺いたい。
- (2) 週3回収集をやめた場合の収集体制の変化、経費等の削減効果はあるのか。
- (3) 週2回収集とすることによる環境負荷低減に効果があると思うか。

4 和田卓生委員（公明党）

1 家庭ごみ収集運搬業務について

- (1) 家庭ごみ収集業務において、本市が行う業務と民間委託する業務の判断基準を伺いたい。
- (2) 今後の具体的な委託の進め方について伺いたい。
- (3) 委託を進めていくうえでは、市民、職員の理解が必要と考えるがどうか。
- (4) この経費削減効果額の内訳について伺いたい。
- (5) 最終的に資源物の収集を全て委託した場合の委託率について伺いたい。
- (6) 収集事務所において、最終的に本市職員が行っていく業務内容はどのようなことか。

2 集積場所対策について

- (1) 集積場所の設置等について、どのような基準を設けているのか。
- (2) 小動物等による集積場所の散乱防止については、どのような方法があるのか。
- (3) 資源物の売却金額について、20年度実績と、21・22年度の見込みを伺いたい。
- (4) 地域還元事業での折りたたみ式ネットボックスの配付個数について伺いたい。
- (5) 折りたたみ式ネットボックスを継続して配付すべきと考えるがどうか。
- (6) 取り残しが、ごみの集積場所の散乱を招いていると思うが、どのように考えているのか。
- (7) 集積場所の改善策についてどのように取り組んでいくのか。
(要望) 集積場所の散乱防止や地域外からのごみの搬出などの問題に対して、局としても対策を講じることを要望します。

3 改正容器包装リサイクル法の再商品化合理化拠出金制度について

- (1) 横浜市のプラスチック製容器包装のリサイクル費用について伺いたい。
- (2) この制度について、具体的にどのような仕組みか。

- (3) 新設されたこの拠出金制度について、横浜市は拠出金の対象となったのか。
- (4) 横浜市として、制度が創設されたことへの評価を伺いたい。
- (5) これからも継続して、制度を有効に活用していくために、横浜市としての今後の取組について伺いたい。

4 焼却灰有効利用事業について

- (1) 焼却灰資源化を進める意義について伺いたい。
- (2) 当該事業はどの位の処理量及び事業費を見込んでいたのか。
- (3) 今回の一時凍結で、交付金など、どのような課題が考えられるのか。
- (4) 当該事業の今後の展開をどう考えているのか。
- (5) 金沢工場熔融施設の一時休止に伴い発生する焼却灰はどう処分するのか。
- (6) 神明台処分地の跡地利用計画はどうなっているか。
- (7) 今後、焼却灰はどのように処分していく考えか。

1 アルミ缶の持ち去りについて

- (1) アルミ缶の持ち去りに対する、局長の所感を伺いたい。
 - (2) アルミ缶の持ち去りについての通報はどのくらいあるのか、今年度も含め3か年の件数はどうなっているのか。
 - (3) アルミ缶の持ち去りに対し、どのように対応しているのか。
 - (4) 今後アルミ缶の持ち去りに対して、どのように取り組んでいくのか。
- (要望) 引き続き関係機関と連携をとり、持ち去り行為の根絶に向け取組を進めることを要望します。

2 みなとみらい地区の管路収集について

- (1) 20年度における利用者数と収集量の実績はどうか。
 - (2) 利用者等に対し、どのような見直しの取組を行ってきたか。
 - (3) これまでに実施した経費縮減のための取組はどうか。
 - (4) 22年度中に、最終判断に向けてどのような視点で検討を行なっていくのか。
- (要望) 精力的に検討を進め、早期に最終判断することを要望します。

3 戸塚区品濃町処分場対策について

- (1) 21年度の工事の内容はどのようなものなのか。また22年度はどのような内容の工事を予定しているのか。
- (2) 改善工事前にどのような費用がどのくらいかかっているのか。
- (3) これまで実行者に対する責任追及をどのように取り組んできたのか。
- (4) 排出事業者に対する責任追及の取組はどうなっているのか。
- (5) 修景作業はどのようなことを予定しているのか。また、処分場の管理は、誰が、どの程度の期間行い、その費用はどのくらいになるのか。

4 PCB廃棄物処理対策について

- (1) PCB廃棄物の処理は、現在、どのように実施されているのか。

- (2) 市内で保管または使用されているPCBはどのくらいあるのか。
- (3) PCB広域処理施設での処理の優先順位はあるのか。また、市内で保管されているPCBは、どの程度処理されたのか。
- (4) 微量PCB汚染廃電気機器とは、どのようなものなのか。
- (5) 「微量PCB汚染廃電気機器等把握支援事業」の概要はどのようなものか。

6 大 貫 憲 夫 委 員 (共 産 党)

1 かながわクリーンセンターについて

- (1) 10年も経たないうちに倒産したと言うことは元々必要とされていなかったのではないか。
- (2) 民間に運営できて、どうして事業団にはできないのか。
- (3) 新年度に事業団の清算に関わる予算と根拠について伺いたい。
- (4) 11億6千4百万円を支出しなければならなくなったことに対する責任についての考えはどうか。
- (5) 役員としての責任についての考えはどうか。
- (6) 譲渡についての入札てん末について伺いたい。
- (7) 入札の予定価格について伺いたい。
- (8) 簿価上、72億円の施設が2000万円の予定価格になっている理由について伺いたい。
- (9) 8億円の貸付金は返ってくるのか。
- (10) 貸付金の具体的な返却予定金額について伺いたい。
- (11) 倒産した企業についての評価はゼロと考えるが、何かを評価して、それに対して応札するものではないか。
- (12) 72億円の簿価に対して、何をマイナスとしたのか。
- (13) 予定価格を決めるにあたり、本市として財産を評価して事業団に伝えたのか。
- (14) 落札価格の14億数千万円と予定価格の2000万円の開きはどのように発生しているのか。
- (15) 予定価格の決定に当たり、役員として具体的に局長はどのように関わったのか。
- (16) 三公共として、確認をどうして与えたのか。
- (17) 入札をやり直すべきと考えるがどうか。
- (18) 事業団の負債総額について伺いたい。
- (19) 出資した企業には要求しないのか。
- (20) 最終的に税金で支払うことになっているが、副市長の見解を伺いたい。